

SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2024年11月1日

事業者情報					
事業者名		キヤノン株式会社			
代表者 職・氏名	職名	常務執行役員 サステナビリティ推進本部 本部長			
	氏名	郡司 典子			
ホームページ URL (任意)		https://global.canon/ja/sustainability/index.html			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
<p>キヤノンの企業理念は、「共生」です。私たちはこの理念のもと、文化、習慣、言語、民族などの違いを問わず、すべての人類が末永く共に生き、共に働き、幸せに暮らしていける社会をめざしています。キヤノンはこの理念のもと、技術・事業を通してお客さまや地域社会、国や地域、地球や自然とも良好な関係を構築し、社会課題の解決に積極的に取り組んでいます。この「共生」の理念は、SDGsの考え方も合致しており、キヤノンのさまざまな企業活動が、SDGsの個々の目標に貢献できると考えています。キヤノンは、「世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくこと」をめざし、共生の実現に向けて努力を続けます。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を實現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
○	○		○		
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
				○	
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
○	○	○		○	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
1,2	大田区社会福祉協議会と共同で、地元大田区のこども食堂を支援するフードドライブ活動を応援しています。	今後も社員から未利用の食品を集めて寄付する活動を継続して実施していきます。
13,15	下丸子本社の敷地内の緑地帯「下丸子の森」が、環境省が実施する「自然共生サイト」認定事業において、生物多様性保全区域に認定されました。「下丸子の森」には、約80種類1,000本近い木々が植えられており、40種以上の野鳥の生息が確認されています。	今後、大田区の下丸子本社をモデル事業所にして、国内の他の拠点でも「自然共生サイト」認定を目指すとともに、各地域の生物多様性の保全に向けた活動をキャノングループ全体で推進していきます。
4,17	キャノンはカメラ教室「ジュニアフォトグラフアーズ」を全国で展開しています。大田区においてもカメラ機材の貸し出しや、ポスターデザイン教室などを実施し、豊かな感性を育むお手伝いをしてきました。	大田区が新たに進める独自教科「おおたの未来づくり」を実施する学校と協力して、こどもたちの学びを応援していきます。
13,14,15	大田区が主導する多摩川河川敷清掃活動に協力しています。また、大田区多摩川河口・ソラムナード羽田緑地での清掃活動「海ごみゼロウィーク」を実施しました。	今後も大田区と連携をはかり、美化活動に取り組むことで、地域の自然環境の保全と、美しい景観の維持に努めていきます。
4,11	大田区文化振興協会を通じた芸術支援活動を行っています。これまで、機材の貸し出しや、オペレッタへの協賛を行ってきました。	今後も大田区の文化活動への協力を行い、地域の活性化と魅力あるまちづくりに貢献していきます。